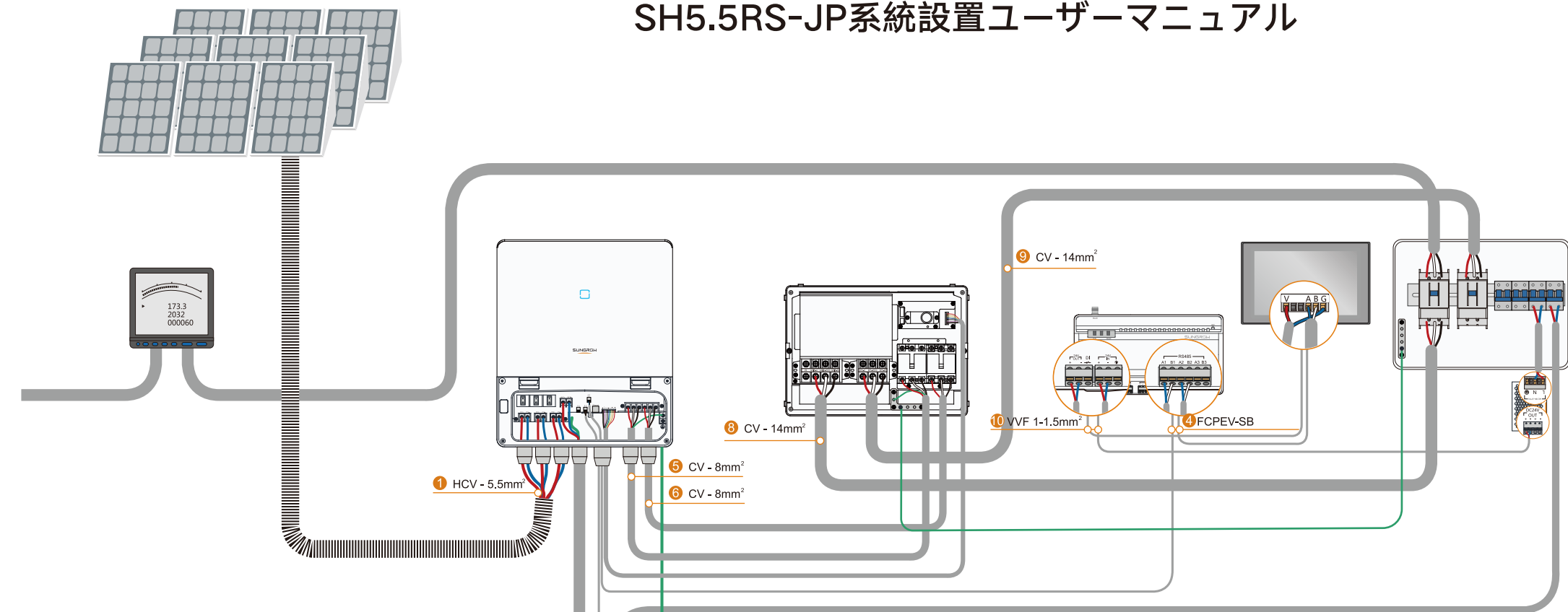
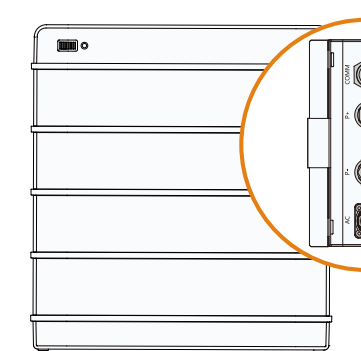


SH5.5RS-JP系統設置ユーザーマニュアル



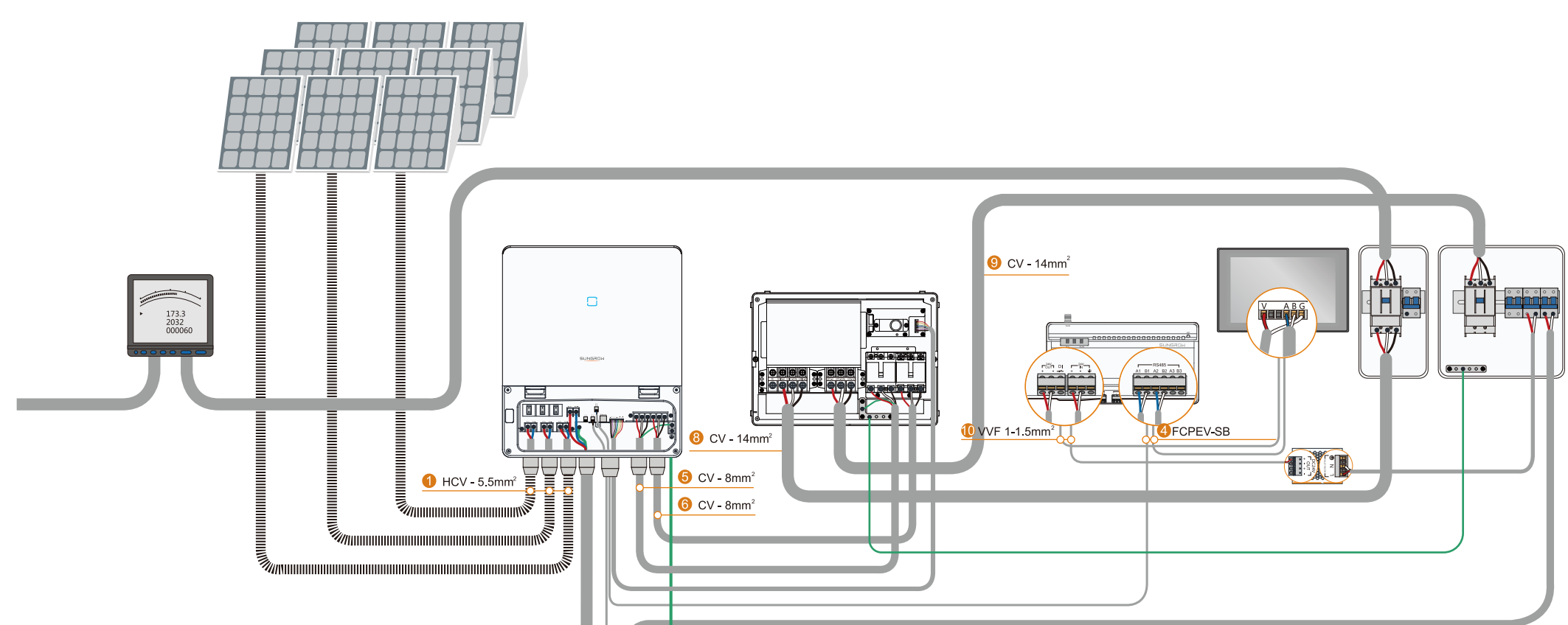
- ② CV - 4mm²-6mm²
- ③ CATe5
- ⑤ CV - 8mm²
- ⑥ CV - 8mm²
- ⑦ IV - 5.5mm²



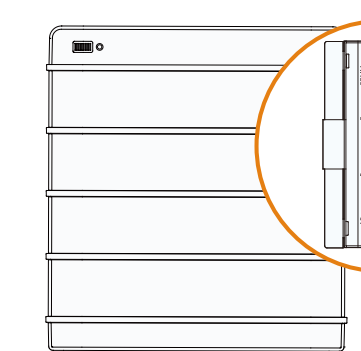
現場で材料を準備します

序	ケーブル	タイプ	断面積	ケーブル数	線心	穴開けサイズ
1	PVケーブル	HCV	5.5 mm ²	3	2	Φ 27
2	バッテリー電源ケーブル	CV	4 mm ² -6 mm ²	1	3	Φ 27
3	通信ケーブル	CATe5	-	-	-	Φ 34
4	RS485 ケーブル	FCPEV-SB	-	2	2	
5	Backupケーブル	CV	8 mm ²	1	4	Φ 27
6	AC ケーブル	CV	8 mm ²	1	3	Φ 27
7	PE線	IV	5.5 mm ²	2	1	-
8	系統ケーブル	CV	14 mm ²	1	3	-
9	自立運転ケーブル	CV	14 mm ²	1	3	-
10	直流ケーブル	VVF	1-1.5 mm ²	2	1	-

* 電池通信ケーブルは、パワーコンディショナー端にオレンジ、ホワイト-オレンジコアのみを使用します。
 ** 使用するケーブルとPFD管の長さは、実際の要件に応じて選定します。
 現地標準によりケーブルの他の要件がある場合は、現地標準に従ってケーブルの仕様を設定してください。



- ② CV - 4mm²-6mm²
- ③ CATe5
- ⑤ CV - 8mm²
- ⑥ CV - 8mm²
- ⑦ IV - 5.5mm²

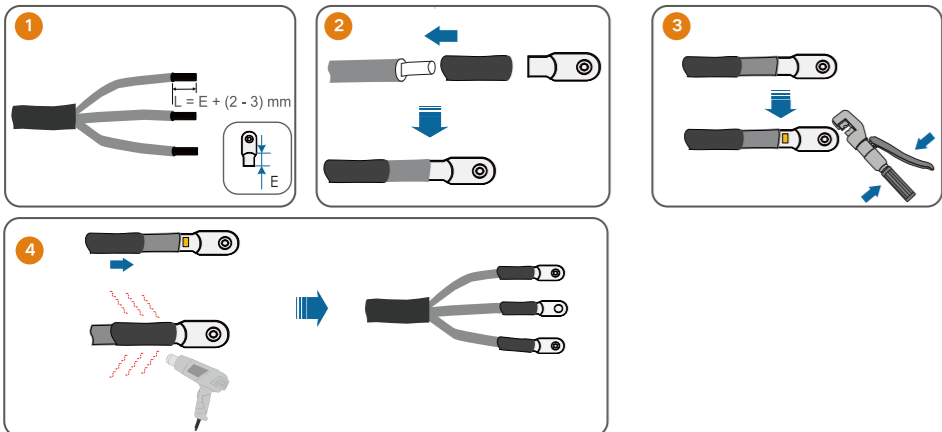


現場で材料を準備します

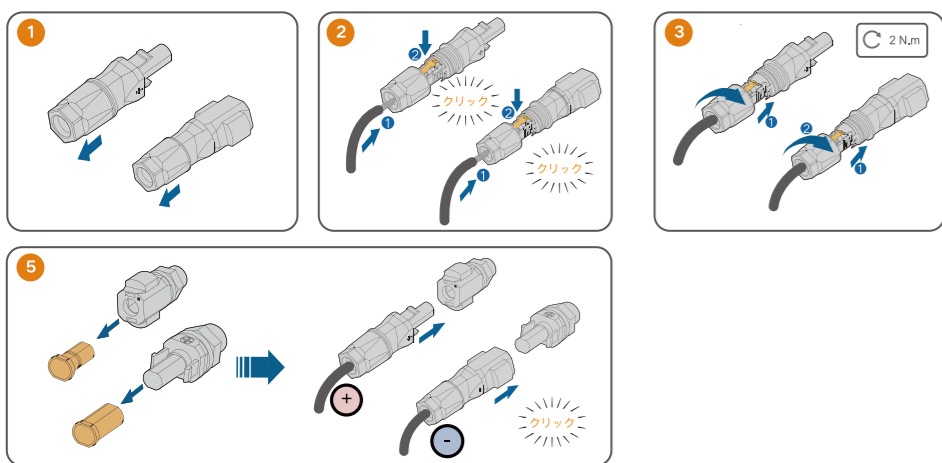
序	ケーブル	タイプ	断面積	ケーブル数	線心	穴開けサイズ
1	PVケーブル	HCV	5.5 mm ²	3	2	Φ 27
2	バッテリー電源ケーブル	CV	4 mm ² -6 mm ²	1	3	Φ 27
3	通信ケーブル	CATe5	-	-	-	Φ 34
4	RS485 ケーブル	FCPEV-SB	-	2	2	
5	Backupケーブル	CV	8 mm ²	1	4	Φ 27
6	AC ケーブル	CV	8 mm ²	1	3	Φ 27
7	PE線	IV	5.5 mm ²	2	1	-
8	系統ケーブル	CV	14 mm ²	1	3	-
9	自立運転ケーブル	CV	14 mm ²	1	3	-
10	直流ケーブル	VVF	1-1.5 mm ²	2	1	-

* 電池通信ケーブルは、パワーコンディショナー端にオレンジ、ホワイト-オレンジコアのみを使用します。
 ** 使用するケーブルとPFD管の長さは、実際の要件に応じて選定します。
 現地標準によりケーブルの他の要件がある場合は、現地標準に従ってケーブルの仕様を設定してください。

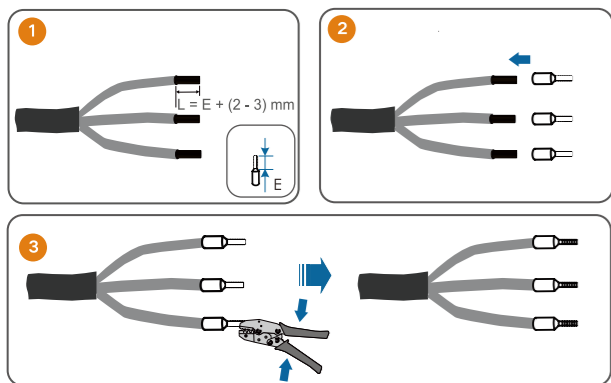
リング端子を圧着します



SUNCLIXコネクタを組み立て



ヨーロッパ式端子を圧着します



* 製品ごとの詳しい設置および配線手順は、当該製品のクイック設置マニュアルまたはユーザーマニュアルをご参照ください。

試運転

- ステップ1: 切替ボックスと系統間にブレーカがあれば、このブレーカを閉じて下さい。
- ステップ2: 切替ボックスの2つ漏電ブレーカーを閉じて下さい。切替ボックス中の自立切換えボタンが跳ね上がっていることを確認してください。
- ステップ3: Logger 1000 Bに電源を入れ、WLAN LEDが青点灯していることを確認して下さい。
- ステップ4: PV端子直流スイッチを「I」状態にして下さい。
- ステップ5: 蓄電池右側のスイッチを閉じて下さい、BMS自己検査状態に入ること。LEDが安定するまで監視して下さい、バッテリーシステムが正常に動作していることを確認する。
- ステップ6: パワコン側面スイッチを「ON」に押しして下さい。
- ステップ7: 光照射が正常になっている、系統が発電条件を満たす場合、パワコンは正常に動作する。LEDの青ランプが安定点灯、パワコンが正常に動作していることを確認する。
- ステップ8: iSolar Cloud Appを使って発電所を作成し、APPの提示に基づいて初期化設定を行って下さい、詳細なステップは「iSolar Cloud Appを使って発電所を新規作成する方法」を参照して下さい。
- ステップ9: パワコンの透明カバーを取り付け、ネジを締めして下さい。
- ステップ10: パワコンのカバープレートを取り付け、カバープレート底部の2本のネジをスパナで締め付けて下さい。

iSolar Cloud Appを使って発電所を新規作成する方法

- ステップ1: Appをダウンロードしてインストールします。
- ステップ2: ログイン画面でアカウントとパスワードを入力し、「ログイン」をクリックして、Appにログインします。
- ステップ3: 右上のアイコン④をクリックして、新規発電所の情報を入力します。
- ステップ4: 実際の状況に応じて該当する情報を記入し、記入が完了後、「次へ」をクリックして次の画面に進みます。
- ステップ5: デバイスを登録する。スキャンコード、デバイスS/N番号手動入力、画像QRコードを識別する3つの方法でデバイスを登録することをサポートする。
- ステップ6: デバイスの登録成功後、デバイスページに進み、発電所の作成に成功した。
- ステップ7: 発電所の作成に完了後、Appのトップページに戻ると発電所の情報を表示できます。

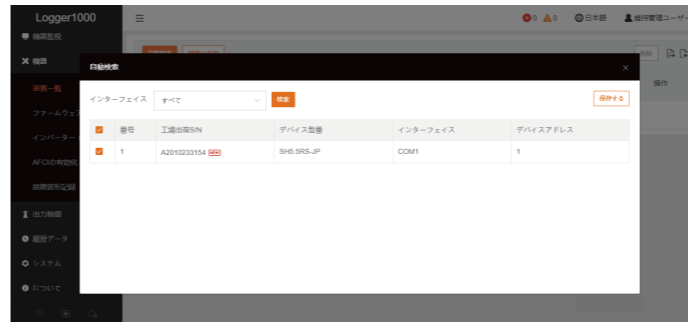
Logger 1000 Bの調整

- ステップ1: PCの無線ネットワーク設定を開き、Logger 1000の無線ネットワーク名（製品のS/N番号と呼ばれ、S/N番号はLogger 1000の正面ラベルに貼られている）を検索し、PCとLogger 1000無線ネットワークとの接続を確立する。
- ステップ2: PCのURL欄にLogger 1000のIPアドレス：【11.11.11.1】を入力し、一般ユーザーログイン画面に進む。
- ステップ3: 右上の【ログイン】をクリックし、デフォルトパスワード「pw 1111」を入力し、ログインをクリックすると、アフターサービスユーザー権限にアクセスが出来ます。




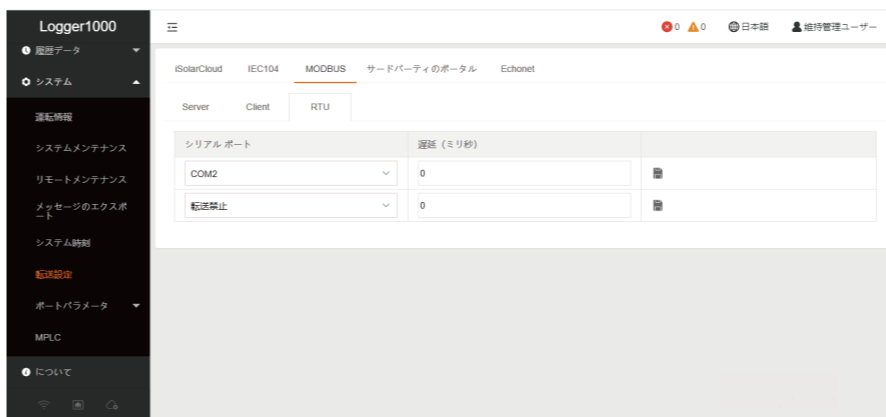
- ステップ4: 【デバイスメンテナンス】->【デバイスリスト】をクリックして、インタフェースに入ります。
- ステップ5: 【自動検索】をクリックし、「自動検索」画面を自動表示される、ポートタイプを選択し、【検索】ボタンをクリックする。

ステップ6: 検索が完了したら、デバイスをチェックして、【保存】をクリックします。



ステップ7: 【システム】->【転送構成】をクリックして、情報を入力して下さい。

ステップ8: 【MODUS】->【RTU】をクリックし、ポートを選択し、遅延時間はデフォルト値を変更せず、右側のアイコンをクリックして保存する。HMIとLogger 1000 Bの実際の配線ポートに基づいて選択してください。HMIがLogger 1000 BのA 1、B 1ポートに接続されている場合、ポートはCOM 1に設定して下さい。HMIがLogger 1000 BのA 2、B 3ポートに接続されている場合、ポートはCOM 2に設定して下さい。HMIがLogger 1000 BのA 3、B 3ポートに接続されている場合、ポートはCOM 3に設定して下さい。



ステップ9: 設定が完了後、1分間待ってください。HMIでPV電圧電流などのパワコン運転情報を見るまで待ってください。

